
第2章 プリンターのセットアップ

InfoPrint 40: Quick Setup Poster

プリンターをセットアップするときは、この章の説明とともに、プリンターに付属の *InfoPrint 40: Quick Setup Poster* も参照してください。セットアップの方法が、絵でわかりやすく説明されています。

チェックリスト

- 1. プリンターを解梱します。『プリンターを設置する』(18 ページ)を参照してください。
- 2. プリンターに同梱されている給紙トレイをセットします。次のマニュアルとページを参照してください。
 - *InfoPrint 40: Quick Setup Poster*
 - 『用紙のセット』(62 ページ)
- 3. トナー・カートリッジを取り付けます。次のマニュアルとページを参照してください。
 - *InfoPrint 40: Quick Setup Poster*
 - 『トナー・カートリッジを交換する』(207 ページ)
- 4. 操作パネル用オーバーレーを貼り付けます(まだ貼り付けられていないとき)。『操作パネル用オーバーレーを貼り付ける』(21 ページ)を参照してください。
- 5. プリンターの電源を入れます。『電源を入れる』(23 ページ)を参照してください。
- 6. 操作パネルに表示されるメッセージが英語のときは、日本語(カタカナ)にします。『日本語表示にする』(25 ページ)を参照してください。
- 7. プリンター構成ページを印刷して、プリンターが作動することを確認します。『プリンター構成ページを印刷する』(40 ページ)を参照してください。
- 8. 必要に応じてパラレル・ケーブルを接続します。『パラレル・ケーブルを接続する』(26 ページ)を参照してください。

注: InfoPrint 40 は、パラレル・ケーブルを使った接続以外に、いろいろな接続形態が可能です。たとえば、トークンリング接続、イーサネット接続、TWINAX 接続、COAX 接続などです。ネットワーク接続用のオプションを取り付けるときは、『ネットワーク・カード』(244 ページ) を参照してください。

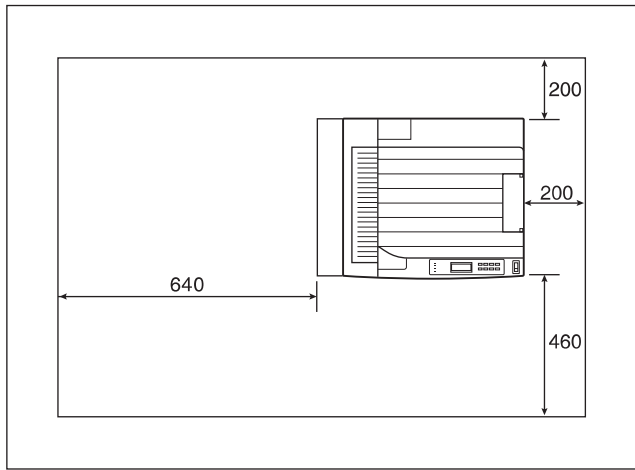
- 9. 2500 枚給紙ユニット (トレイ 3、4、5)、増設メモリー、IPDS オプション、フラッシュ・メモリー、ハード・ディスク、ネットワーク・カード (イーサネット、トークンリング、TWINAX、COAX) などのオプションを取り付けます。『第8章 オプションの取り付け』(235 ページ) を参照してください。
- 10. プリンター・ドライバーをコンピューターに導入します。『プリンター・ドライバーを導入する』(28 ページ) を参照してください。
- 11. プリンターを使ってみましょう。『第3章 操作パネルの使い方』(35 ページ) を参照してください。

プリンターを設置する

プリンターを設置する前にスペースを確認してください。オプション機構を何も取り付けていない状態で、プリンターの寸法は次のとおりです。

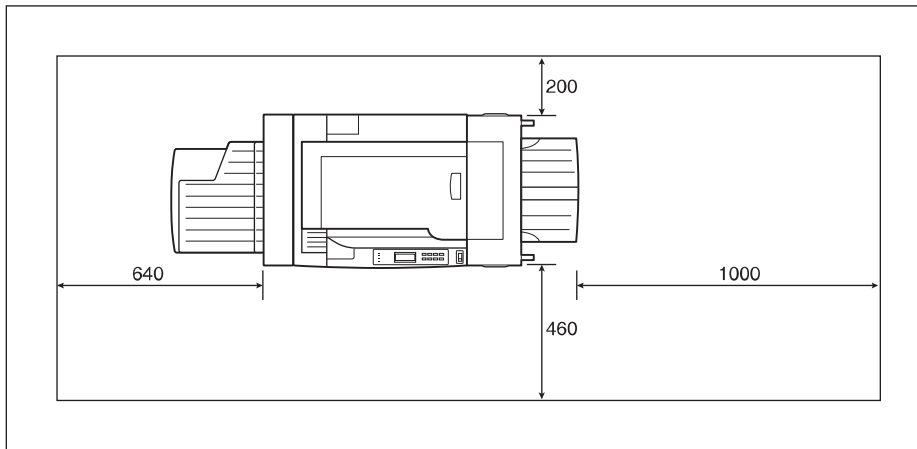
- 幅: 762 mm
- 奥行き: 520 mm
- 高さ: 486 mm

プリンターの周りにもスペースを確保します。プリンターを操作するために必要です。オプションを取り付けていない標準構成の場合、プリンターの背面に 200 mm 以上、前面に 460 mm 以上、右側に 200 mm 以上、左側に 640 mm 以上のスペースを確保してください。



hc3u019F

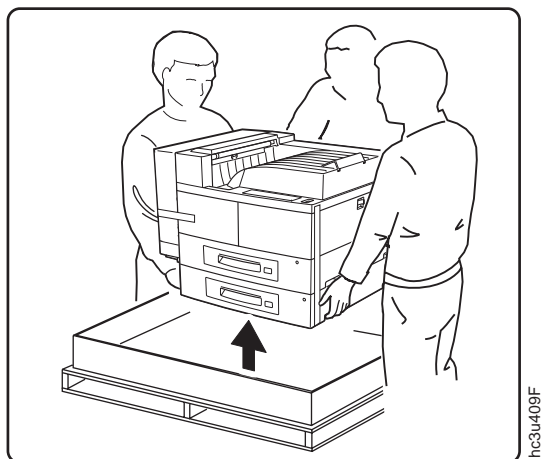
オプションを取り付けているときは、プリンターの背面に 200 mm 以上、前面に 460 mm 以上、右側に 1000 mm 以上、左側に 640 mm 以上のスペースを確保するようお勧めします。



hc3u020F

⚠ 注意

<2-26> プリンターの重量は約 45kg です (2500 枚給紙ユニットやフィニッシャーを含まない)。プリンターは 3 人で運んでください。正しい持ち上げ手順に従ってください。



梱包箱から内容物をすべて取り出します。プリンターを持ち上げ、平らな台の上に置きます。次のうち足りないものがあったら、販売店にご連絡ください。

- InfoPrint 40 本体
- トナー・カートリッジ
- マニュアル:
 - InfoPrint 40: ユーザーズ・ガイド
 - InfoPrint 40: クイック・リファレンス・カード
 - InfoPrint 40: Quick Setup Poster
 - InfoPrint 40: Warranty, Communication Statements, and Safety Information
 - イーサネットおよびトークンリング構成の手引き
- CD-ROM
- 電源コード

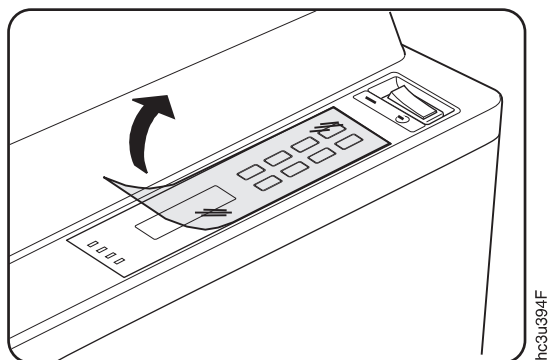
注: 梱包箱、梱包材はすべて保管しておいてください。プリンターの移動や保管時に必要です。

操作パネル用オーバーレーを貼り付ける

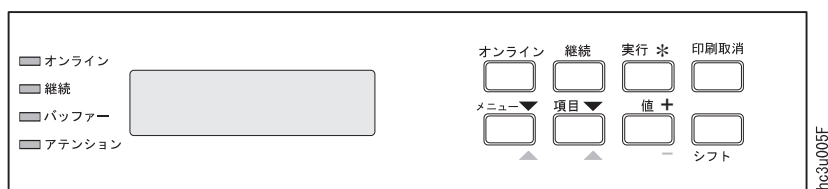
重要!

プリンターによってはすでにオーバーレーが付いていることがあります。
オーバーレーが付いているときは、この手順は飛ばしてください。

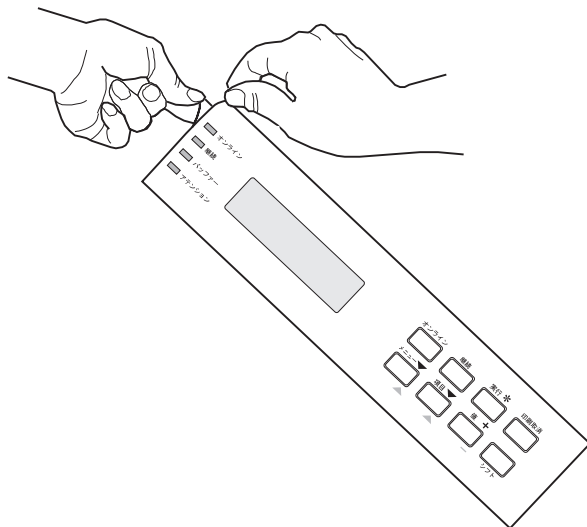
1. 操作パネルから保護用の薄いフィルムをはがします。



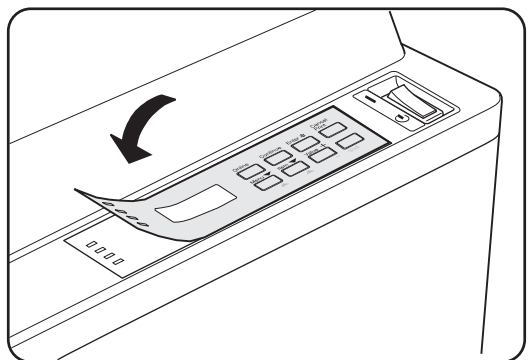
2. 乾いた布やタオルで、操作パネルのほこりを取り除きます。
3. オーバーレーを確認します。操作パネル上のキーの名前が印刷されています。




4. 裏紙をはがします。

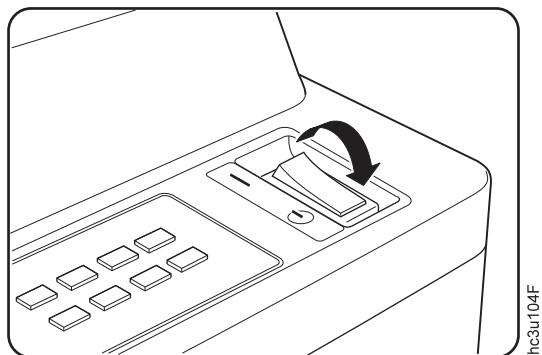


5. オーバーレーの右端が操作パネルの右端とぴったり一致するように位置決めをします。オーバーレーの右端から左端に向かって、ゆっくり押さえながら貼り付けます。

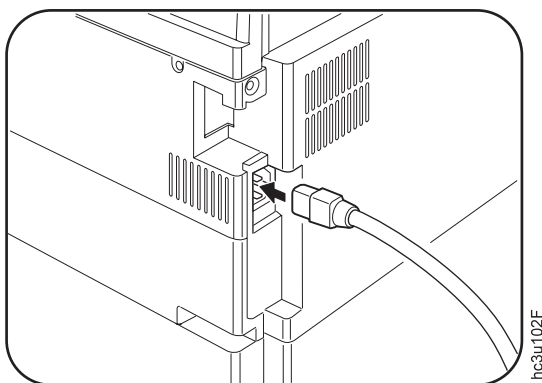


電源を入れる

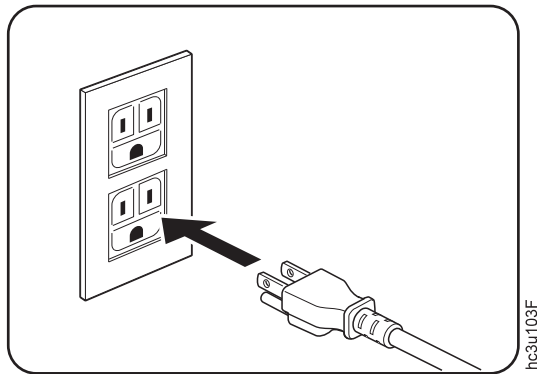
1. プリンターの電源がオフになっていることを確認します。電源スイッチの  の側が押されていれば、電源はオフです。



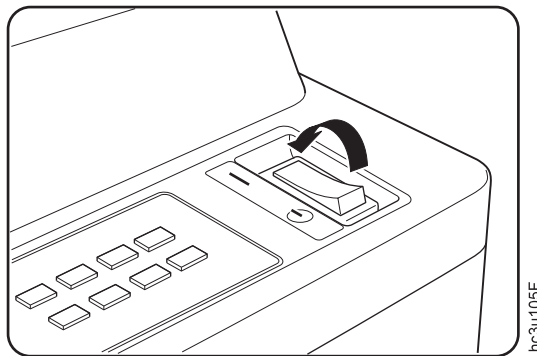
2. プリンターの背面にあるコネクタに電源コードを差し込みます。



3. コードのもう一方の端を電源コンセントに差し込みます。コンセントは接地されたものを使ってください。



4. 電源スイッチの | の側を押すと、プリンターの電源が入ります。



5. プリンターが起動を始めると、メッセージが次のように表示されます。

「IBM InfoPrint」



「ウォーミング・アップ...」 (約 1 分かかります)



「インサツカノウ」

「インサツカノウ」が表示されると印刷ができます。

プリンターの電源の切り方については、『電源を切る』(33 ページ)を参照してください。

日本語表示にする

重要!

操作パネルのメッセージがすでに日本語（カタカナ）になっているときは、この手順を飛ばしてください。プリンターの電源を初めて入れたとき、メッセージは日本語（カタカナ）になっています。この手順は、メッセージが英語表示になっていて日本語表示に変えたいときだけお読みください。

液晶表示部の表示を日本語（カタカナ）にするには、次のようにします（現在英語表示になっているものとして説明します）。

1. 【オンライン】 を押します。液晶表示部に「OFFLINE」と表示されます。
2. 【メニュー】 を繰り返し押して「LANGUAGE MENU」を表示させます。
3. 【項目】 を押して「LANG=ENGLISH」を表示させます。
4. 【値】 を繰り返し押して「LANG=KATAKANA」を表示させます。
5. 【実行】 を押します。「ゲンゴ=KATAKANA*」と表示されます。アスタリスク(*)は、選択が確定したことを表します。
6. 【オンライン】 を押して「インサツカノウ」を表示させます。これで液晶表示部の表示が日本語（カタカナ）になりました。

パラレル・ケーブルを接続する

重要!

パラレル接続で印刷するためには、パラレル・ケーブルが必要です。パラレル・ケーブルは InfoPrint 40 に付属していません。パラレル・ケーブルは、IEEE 標準 1284-1994 に準拠したものを用意します (IBM 部品番号 81X7875、63H2804、または同等品)。パラレル・ケーブルなどのオプションが必要なときは、お買い上げの販売店または貴社担当の営業担当員にご連絡ください。次のネットワーク・カード (オプション) を取り付けるときは、『ネットワーク・カード』(244 ページ) を参照してください。

- イーサネット用ネットワーク・カード (10Base2/10BaseT)
- 高速イーサネット用ネットワーク・カード (100BaseTx/10BaseT)
- トークンリング用ネットワーク・カード
- TWINAX インターフェース・カード
- COAX インターフェース・カード

⚠ 危険

<1-13> 雷雨中に、通信ポートなどのコネクタをつないだり抜いたりしないでください。

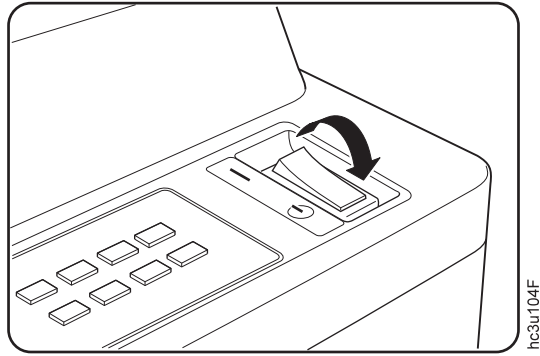
hcsf0113

⚠ 危険

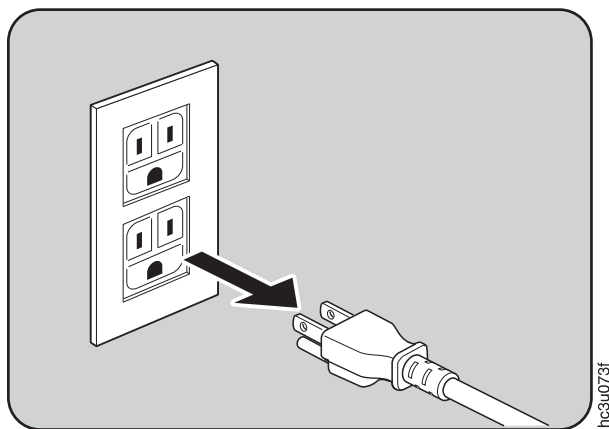
<1-14> 通信ポートなどのコネクタをつないだり抜いたりするときは、あらかじめプリンターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

hcsf0114

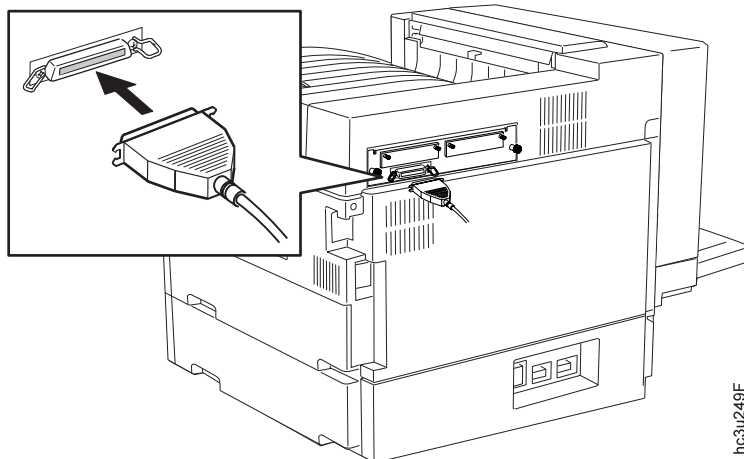
1. プリンターの電源を切ります。



2. プリンターの電源コードをコンセントから抜きます。



3. パラレル・ケーブルをプリンター背面のパラレル・ポートに接続します。



4. ケーブルのもう一方の端をコンピューターのパラレル・ポートに接続します。
5. プリンターの電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

プリンター・ドライバーを導入する

プリンター・ドライバーをオペレーティング・システムに導入します。InfoPrint 40 の CD-ROM には、PostScript、PAGES、PCL5e のプリンター・ドライバーが入っています。プリンター・ドライバーはオペレーティング・システム別に用意されています。CD-ROM には、プリンター・ドライバーの一覧も入っています。

注:

1. プリンター・ドライバーの導入方法は、オペレーティング・システムによって変わります。次のドキュメントを参照してください。
 - 導入するドライバー用の README ファイル (CD-ROM に入っています)
 - プリンター・ドライバーの導入方法を説明したオペレーティング・システムのドキュメント
2. プリンター・ドライバーは随時更新されます。最新のバージョンは、インターネットの次のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.ibm.co.jp/printer/>

プリンター・ドライバーの設定を行う

プリンター・ドライバーを導入した後は、ドライバーの設定を行います。たとえば、装着しているトレイの種類、メモリー容量、オプションの種類などをコンピュータ上で設定します。プリンターにオプションを追加するなどしてプリンターの構成が変わったときは、ドライバーの設定情報も更新してください。

プリンター・ドライバーの設定画面を表示させる方法を以下に説明します。

設定画面の詳細は、ドライバーに付属しているReadmeファイル、ヘルプ、ドキュメント・ファイルを参照してください。

1. 設定画面の種類

設定画面を表示させる方法は、通常次の 2 つがあります。

- a. アプリケーションのメニュー（印刷メニューなど）から表示させる方法
- b. スタート メニューやコントロール パネルなど、オペレーティング・システムが用意しているメニューや画面から表示させる方法

設定画面そのものは、a. の方法で表示させても b. の方法で表示させても同じです（Windows NT 4.0は違います）。どちらの画面でも設定作業を行えます。a. で表示させた画面と b. で表示させた画面とで、設定内容が食い違っているときは、a. の設定が優先されます。b. で設定した内容は、a. の画面の初期値になります。a. と b. の表示方法を以下に説明します。

2. アプリケーションのメニュー（印刷メニューなど）から表示させる方法

アプリケーションによって手順が多少違います。

- 多くのアプリケーション（たとえばMicrosoft Wordや一太郎など）では「ファイル」メニューから「印刷」を選び、プリンターを選択してから「プロパティ」ボタンを押します。
- Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0のアクセサリの「メモ帳」では「ファイル」→「ページ設定」→「プリンタの設定」でプリンターを選んでから「プロパティ」ボタンを押します。

3. スタート メニューやコントロール パネルなどから表示させる方法

a. Windows 3.1またはWIN-OS/2のとき

- 1) 「メイン」ウィンドウの「コントロール パネル」をダブルクリックします。「コントロールパネル」が表示されます。
- 2) 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックします。「プリンタの設定」が表示されます。

- 3) 「組み込まれているプリンタ」の一覧からプリンターをクリックして反転表示させます。
 - 4) 「設定」ボタンを押します。プリンター・ドライバの設定画面が表示されます。
- b. Windows 95、Windows 98のとき
- 1) 「スタート」ボタンを押し「設定」→「プリンタ」を選びます。「プリンタ」画面が表示されます。
 - 2) プリンターをマウスで右クリックして「プロパティ」を選びます。プリンター・ドライバの設定画面（プロパティ画面）が表示されます。
- c. Windows NT 4.0のとき

Windows NT 4.0には、プリンター・ドライバの設定画面が2種類あります。

• 「プリンターのプロパティ」画面を表示させる方法

- 1) 「スタート」ボタンを押し「設定」→「プリンタ」を選びます。「プリンタ」画面が表示されます。
- 2) プリンターをマウスで右クリックして「プロパティ」を選びます。「プリンターのプロパティ」画面が表示されます。

「プリンターのプロパティ」では、出力先ポート、スプール・データの形式、プリンターに付いているトレイの種類、オプションの種類などを指定します。「プリンターのプロパティ」画面は、アプリケーションからは表示できません。上の方法で表示させて正しく情報を指定する必要があります。PAGESドライバの場合、「給紙方法と用紙の割り当て」の設定は通常不要です。インストール直後の状態のままです。

• 「既定のドキュメントのプロパティ」画面を表示させる方法

- 1) 「スタート」ボタンを押し「設定」→「プリンタ」を選びます。「プリンタ」画面が表示されます。
- 2) プリンターをマウスで右クリックして「ドキュメントの既定値」を選びます。「既定のドキュメントのプロパティ」画面が表示されます。

「既定のドキュメントのプロパティ」は、アプリケーションから表示させた設定画面（「ドキュメントのプロパティ」と言います）と同じです。「既定のドキュメントのプロパティ」では、用紙サイズや用紙

の向きなどを指定します。「既定のドキュメントのプロパティ」で指定した内容は、アプリケーションから表示させた「ドキュメントのプロパティ」の初期値になります。

d. Windows NT 3.51のとき

- 1) 「メイン」画面の「プリント マネージャ」をダブルクリックします。「プリントマネージャ」画面が表示されます。
- 2) プリンターをマウスで選びます。「プリンタ」メニューの「プリンタ情報」を選びます。「プリンタ情報」画面が表示されます。「プリンタ情報」では、出力先ポートなどを指定します。
- 3) 「プリンタ情報」画面の「設定」ボタンを押すと「プリンタセットアップ」画面が表示されます。給紙方法と用紙名の割り当てなどを行います。PAGESドライバーの場合、通常この設定を変える必要はありません。PCLドライバーとPostScriptドライバーの場合は正しく設定する必要があります。
- 4) 「プリンタ情報」画面の「詳細」ボタンを押し、さらに「標準設定」ボタンを押すと「文書属性」画面が表示されます。この画面は、アプリケーションから表示させる設定画面と同じです（アプリケーションから表示させる設定画面も「文書属性」と言います）。「文書属性」画面では、用紙名や用紙の向き（縦横）などを指定します。「プリンタ情報」から表示させた「文書属性」画面で指定した内容は、アプリケーションから表示させた「文書属性」画面の初期値になります。

e. OS/2 Warp 4のとき

- 1) ワープセンターのプリンターのアイコンをクリックします。メニューが表示されます。
- 2) 設定するプリンターを選びます。プリンターの画面が表示されます。
- 3) メニューから「プロパティ」を選びます。プロパティ画面が表示されます。
- 4) 「プリンター・ドライバー」タブをクリックし、設定するプリンター・ドライバーのアイコンをダブルクリックします。プリンター・ドライバーの設定画面が表示されます。

f. OS/2 Warp 3またはOS/2バージョン2のとき

- 1) インストールしたプリンターのアイコンがデスクトップ上にあります。このアイコンをダブルクリックします。「プリンター」画面が表示されます。

- 2) メニューから「設定」を選びます。後は、OS/2 Warp 4とほぼ同じ手順です。

4. 設定画面の使い分け方

a. アプリケーションから表示させる設定画面

印刷時に使う給紙トレイ、用紙サイズ、用紙の向き（縦横）などは、アプリケーションから設定画面を表示させて指定します。これらの情報は、印刷する文書によって変わるからです。印刷時にアプリケーションのメニューから設定画面を表示させて、正しい情報を指定する必要があります（初期値のままでよければ表示させる必要はありません）。


b. スタート メニューやコントロール パネルなどから表示させる設定画面

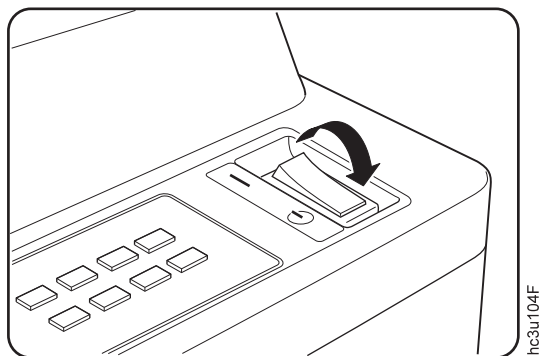
プリンターに付いているトレイの種類、オプションの種類、メモリー容量などは、こちらの設定画面で指定します。プリンターに付いているトレイの種類やオプションの種類などは、印刷するたびに変わるものではありません。したがって、こちらの設定画面で指定しておけば、アプリケーションからの印刷時に設定情報をそのまま利用できます。

c. アプリケーションが独自の設定画面を持っているときの注意

用紙サイズや用紙の向きなどは、アプリケーション自体にも設定画面を持っているものがあります。たとえば、Microsoft Wordでは「ファイル」メニューから「ページ設定」を選ぶと、用紙サイズや用紙の向きを指定できます。一太郎では「ファイル」メニューから「文書スタイル」を選んで指定します。このようにアプリケーションで用紙サイズや用紙の向きを指定できるときは、この情報が最優先されます。プリンター・ドライバーの設定画面（上のaやb）で指定した内容や、操作パネルで指定した内容は、無効になります。

電源を切る

電源スイッチの  の側を押すと、電源が切れます。



次の点にご注意ください。

1. 印刷動作中に電源を切らないでください。内部の部品を傷めたり、紙詰まりを起こしたりします。
2. 操作パネルの〈バッファ〉ランプが点灯しているときに電源を切ると、プリンター内部のデータは印刷されずに失われます。
3. 電源は必ず電源スイッチで切ってください。電源が入っているときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。
4. InfoPrint 40 にはシャットダウン (終了) の操作はありません。「インサツカノウ」や「オフライン」の状態では電源が切れます。

